

“いのちをまもるパートナーズ” 医療安全全国フォーラム2015

～テーマ「こうあってほしい医療安全—患者の視点から」～

- 日時：2015年11月21日（土）10:00～15:30（受付開始 9:30）
- 会場：幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市美浜区中瀬2-1）
- 主催：一般社団法人 医療安全全国共同行動 ■後援：厚生労働省、全国知事会
- 参加費：3,000円



●プログラム●

【第1部】 10:00～12:00 分科会A～E（医療安全のための行動目標別セミナー／ワークショップ）
※各分科会のテーマと講師については裏面をご参照ください。

【第2部】 13:00～15:30

開会挨拶 高久 史磨（医療安全全国共同行動 議長、日本医学会会長）

シンポジウム「医療者と患者のパートナーシップを推進するために ～『ジョージの物語』は米国の医療の安全をどのように変えたか？」

2001年、米国のジョンズ・ホプキンス大学病院で起きた医療事故で1歳半の娘ジョージを亡くしたソレル・キングさんは、事故の和解金でジョージ・キング財団を創設しました。ソレルさんは、いくつかのきっかけや出会いを通して、一人の母親としての悲嘆や怒りを、医療安全活動を進める前向きなエネルギーに変え、全米の医療機関・医療従事者に大きな影響を与えてきました。本年、その著書『ジョージの物語』の日本語版が出版されました。ソレルさんは2004年12月に始まった米国の100K＜十万人の命を救え＞キャンペーンと深いかかわりを持ってこられ、このキャンペーンをモデルとして始まった日本の医療安全全国共同行動との縁も深いといえます。

本シンポジウムでは、ソレルさんにビデオレクチャーをいただき、ソレルさんを全面的にサポートしてこられた医師のアルバート・ウー先生にご講演をいただいたあと、日本の医療安全活動のこれからを、医療安全全国共同行動「行動目標8：患者・市民の医療参加」の取り組みとして、「患者とのパートナーシップ」の視点からディスカッションします。

司会：山内 桂子（医療安全全国共同行動 技術支援部会 行動目標8「患者・市民の医療参加」代表）

13:05 ビデオレクチャー「日本の医療者の皆さんへ～ジョージ・キング財団が進めてきたこと」
ソレル・キング（ジョージ・キング財団設立者・代表、『ジョージの物語』著者）

13:25 講演「ジョンズ・ホプキンス病院における医療過誤と患者安全改革」
アルバート・ウー（ジョンズ・ホプキンス大学医療アウトカム研究センター教授、医療の質・患者安全プログラムディレクター）

14:25 ディスカッション「『ジョージの物語』に学び、私たちの次の一歩につなぐために」
[パネリスト] 豊田 郁子（IMSグループ新葛飾病院 セーフティーマネージャー、患者・家族と医療をつなぐNPO法人「架け橋」理事長）、岡本 左和子（奈良県立医科大学 健康政策医学講座 講師）、松村 由美（京都大学 医療安全管理部 病院教授・医療安全管理室長）、高橋 英夫（名古屋大学大学院医学系研究科 救急・集中治療部 准教授）

閉会挨拶 小泉 俊三（医療安全全国共同行動 専務理事）

（敬称略）